

議第3号議案

中学校でも35人学級の実現を求める意見書

上記議案を別紙のとおり提出いたします。

令和3年3月19日提出

提出者	新座市議会議員	嶋田 好枝
賛成者	//	笠原 進
	//	高邑 朋矢
	//	小野 大輔
	//	小野由美子
	//	辻 実樹
	//	石島 陽子

提 案 理 由

中学校でも35人学級が実現するよう求めるため、この案を提出する。

中学校でも35人学級の実現を求める意見書

政府は令和3年度から、小学校全学年を段階的に35人学級にする計画を決定しました。埼玉県を発表を受け、新座市でも令和3年度から小学校3年生の実施が決定しました。菅義偉首相は、「中学校でも少人数学級の実施を検討する」と歴代首相としては初めて明言しました。

小学校と同様に、中学校でも早期に35人学級を実現することを要望します。中学校では、いじめや不登校、学習意欲の向上や学習習慣の定着など、様々な課題に直面しています。一人一人の生徒に寄り添ったきめ細かな教育を実現するためにも、少人数学級の実現は必要です。早期の実現を要望します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年 月 日

埼玉県新座市議会

内閣総理大臣 様

文部科学大臣 様